

中学校外国語（英語）科 学習指導案

〇〇中学校

指導者 〇〇 〇〇

1. 日 時 令和〇年〇月〇日（〇）第〇時限
2. 場 所 SS ラボ
3. 学年・組 第2学年〇組（〇名）
4. 単元（題材）名 Lesson 6 USE Write（使用図書は、教科書：NEW CROWN 2 p.98-99（三省堂））

5. 単元（題材）の目標

台湾の交流校にいる文通友達に日本のおみやげを紹介するために、おみやげの特徴や使い方、事実などを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書く。

6. 教材観

本単元では現在完了形の継続用法を学習する。また単元後半（本時）の USE Write では、既習の現在完了形の文章を使いながら、相手に日本のおみやげの特徴や使い方を伝える表現を学習する。本単元では中国のお茶の歴史や種類、工芸茶の特徴や製造方法を英語で学ぶことができる。本校では台湾の交流校と中学1年次から文通、YouTube、Zoom などを使用し交流を進めており、今回はその交流校にいる文通友達に向けて本単元内容の英文を学び、参考しながら「日本のお土産」をテーマに紹介文を書いていく。

7. 生徒観 省略

8. 指導観

生徒たちは中学1年次より、台湾の交流校の生徒と文通やオンラインを通して交流を行っている。来年度、実施予定の台湾修学旅行では1年生から交流を続けてきた文通友達と対面し、英語によるコミュニケーションを目標に指導を続けている。その時に生徒は一人一つお土産を用意し、文通相手に渡す予定である。そのような場面を想定し相手を意識した英文の作成や相手からの質問などに即興で答えられるコミュニケーション力を育む学習を継続していく。本時では、台湾の交流校に対して日本のおみやげを説明するカードを書くという場面において、現在完了形の文や既習の文法事項を使ったり、iPadのアプリ（Pages）や音声入力機能を使ったりすることにより、自分の気持ちや意見を英語で伝えることができるようにする。

9. 単元（題材）の評価規準（書くこと）

| 知識・技能【知】 | 思考・判断・表現【思】 | 主体的に学習に取り組む態度【態】 |
|--|--|--|
| <p>[知] 現在完了形（継続用法）の肯定文・否定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技] ずっと興味のあることや好きなことについて、現在完了形（継続用法）を用いて、自分の考えや気持ちを正確に書く技能を身に付けている。</p> | <p>台湾の交流校の文通相手に日本のおみやげを紹介するために、おみやげの特徴や使い方、事実などを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で表現している。</p> | <p>台湾の交流校の文通相手に日本のおみやげを紹介するために、おみやげの特徴や使い方、事実などを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を表現しようとしている。</p> |

10. 単元の指導と評価の計画（全8時間）

◎：総括的評価（記録に残す評価）
○：形成的評価（指導に生かす評価）

| 時 | 学習内容 | 評価の観点 | | | 主な評価規準 (評価方法) |
|-----------|---|-------|---|---|------------------------|
| | | 知 | 思 | 態 | |
| 第1時 | 現在完了形（継続用法）の肯定文の復習 ・現在完了形を用いた文の構造を理解する。 ・現在完了形を用いて、自分自身が継続して行っている英文を書く。 | ○ | | | 知（iPad、観察） |
| 第2時 | 各自が「日本のお土産」を1つ決める。 ・Lesson 6 Part1 本文 | | | ○ | 態（観察） |
| 第3時 | 「紹介文の書き出し」を学ぶ。 ・現在完了形（継続用法）の否定・疑問文の復習 | ○ | | | 知（iPad、観察） |
| 第4時 | 「特徴」を説明する表現を学ぶ。 ・Lesson 6 Part2 本文 | | | ○ | 態（観察） |
| 第5時 | 「使い方」を説明する表現を学ぶ。 ・Lesson 6 Read(p.96) 本文 | | ○ | | 思（観察） |
| 第6時 | 「事実」を説明する表現を学ぶ。 ・Lesson 6 Read(p.97) 本文 | | ○ | | 思（観察） |
| 第7時 本時 | 手紙の形式で紹介カードを作成する。 ・Lesson 6 USE Write カード | ○ | ◎ | ◎ | 思（レポート【iPad】） 態（観察） |
| 第8時 | 前時の振り返り（他の人の英文を読む） | ○ | | | 知（ワークシート） |
| 後日 | ペーパーテスト | ◎ | | | 知（ペーパーテスト） |

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・簡単な語句や文を用いて、「日本のお土産」の紹介カードを作成する。
- ・紹介文の中で現在完了形の文を使い、まとまった英文を作ることを通して文法事項の理解を深める。

(2) 本時の評価規準

台湾の交流校の文通相手に日本のおみやげを紹介するために、おみやげの特徴や使い方、事実などを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で表現している。【【思考・判断・表現】】【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 本時の判断基準

【思考・判断・表現】

| 十分満足できる状況(A) | おおむね満足できる状況(B) | 努力を要する生徒への支援(C) |
|---|------------------------------------|---|
| 日本のお土産をテーマに、その見た目や特徴、使用用途などを写真や絵と共に英語で詳しく書いている。 | 日本のお土産というテーマに合わせて、英文を写真や絵と共に書いている。 | 本時までの学習活動の中で段階的に指導する。本時では机間指導をし、テーマにあった表現などを助言する。 |

【主体的に学習に取り組む態度】

| 十分満足できる状況(A) | おおむね満足できる状況(B) | 努力を要する生徒への支援(C) |
|--|---------------------------------------|---|
| 日本のお土産をテーマに、その見た目や特徴、使用用途などを写真や絵と共に英語で詳しく書こうとしている。 | 日本のお土産というテーマに合わせて、英文を写真や絵と共に書こうとしている。 | 本時までの学習活動の中で段階的に指導する。本時では机間指導をし、テーマにあった表現などを助言する。 |

(4) 本時の学習過程

| 時間 | 学習内容・学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準 (評価方法) |
|-----------|---|--|----------------|
| 導入 5分 | ○ Word Counter (ペアワーク) ・1分間で1つのテーマについて英語でスピーチする。 ・パートナーは専用紙 (Word Counter) を使って語数をカウントする。 | ○1分間のスピーチを通して、英語を話すことやペアでの活動を意識させる。 ・ミスを恐れず、積極的に発話するように声をかける。 ・クラス全体を観察して生徒の様子を確認する。 | |
| 展開 30分 | ○ 現在完了形の復習プリントを使い、現在完了形を使った英文を練習する。 ・教師の後に続き、リピートする。 ・ペアを作り、「リピート&翻訳練習」を行 | ○ Air Drop で復習プリントを配付し練習をする。 ・うまく配付できない場合は、紙のプリントを渡す。 | |

| | | | |
|--------------------|---|---|--------------------------------------|
| | <p>う。制限時間は2分。</p> <p>○「日本のお土産」をテーマに紹介カードを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iPad のアプリ「Pages」の音声入力機能を使用し、内容を打ち込んでいく。(2分間) ・キーボードを使い手直しをする。(7分間) ・本単元の文法事項である「現在完了形」を手紙に入れるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【評価規準】</p> <p>①現在完了形の文章を使っている。</p> <p>②手紙の形式で書けている。</p> <p>③英文と写真の内容が一致していて意味がわかる。</p> <p>④お土産の特徴や使用用途を詳しく説明している。</p> </div> <p>○ Padlet (掲示板アプリ) に自分の原稿を載せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QR コードを読み込み、Padlet のサイトを開く。 ・自分の出席番号の場所に、音声入力した英文をコピー&ペーストする。 ・手紙の形式になるよう体裁を整え、内容に関する写真(日本のお土産)を添付する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライドを提示し、練習の仕方を確認する。 ・クラス全体を観察して生徒の様子を確認する。 <p>○ 台湾の文通相手へ向けて、「日本のお土産」をテーマに英文を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリ「Pages」を開き、音声入力の準備をさせる。 ・評価規準をスライドで提示する。 ・現在完了形の英文を1文 or 2文入れるように指示する。 ・音声入力がうまく機能しなかった場合は予備の iPad を渡すか手入力するように指示する。 ・キーボードを使った入力が苦手な生徒を特に注意して全体を観察する。 <p>○ 手紙の形式を提示したあと、Padlet に手紙原稿を載せさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P98 のページを提示し、書き出しは“Dear” や “To” から始め、終わりには自分の名前の上に “Sincerely” や “Best wishes” をつけるように指示する。 ・Padlet の使い方で困っている生徒がいなければ観察する。 | <p>◎思 (レポート【iPad】)</p> <p>◎態(観察)</p> |
| <p>まとめ 10分</p> | <p>○クラスメイトの英文を Padlet 上で読み、評価していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人組を作り、他の生徒の英文を読み、Padlet 上で評価をつける。(満点☆5つ) | <p>○クラスメイトの英文を読み、評価するときの規準を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価規準をプロジェクターで表示する。 ・早く終わった場合は、他の生徒の英文も読むように指示する。 | <p>○知(観察)</p> |